専修大学附属高等学校 季刊だより

Buddy!

★バディ!

専大附属ニュース
No.72
平成27年7月18日

専修大学附属高等学校
広 報 部
東京都杉並区和泉 4-4-1
TEL.03-3322-7171
FAX.03-3322-9043
http://www.senshu-u-h.ed.jp/

連載シリーズ記事

年間行事 イベントレポート

●入学式　●卒業式

シリーズ連載 ～5時間目～

「Teacher 柴田の 学べる家庭科」

生徒会便り

●平成26年度石巻研修報告
●生徒会長挨拶
●密着生徒会24時!!

クラブ活動 特集

男子バレーボール部＆女子バスケットボール部＆ラグビー部＆美術部を紹介!
TOPICS／ワンダーフォーゲル部＆軽音楽同好会

Teachers Buddy! 4

今回のティーチャーズ・フォーは4人の先生を紹介します。
英語科の米元先生、理科の福島先生、公民科の柴田先生、数学科の鳥居先生です。
先生方に4つの質問をさせていただきました。
専大附属のイメージや生徒達への想い、
是非ご一読ください。

Question

Q.1／先生から見た専大附属の印象はどのようなものですか。
Q.2／先生の高校生のときの思い出はなんですか。
Q.3／高校生のうちに学んでほしいことは何ですか。
Q.4／生徒に対してメッセージをお願いします。

鳥居 丈二 先生（数学科）／写真左

A.1／とても穏やかな印象です。感じのよい生徒が多く、校内は明るい雰囲気です。そして、部活動をはじめ、何かに真剣に打ち込む生徒が多くいます。あ、一生懸命になりすぎて、本職の勉強を疎かにしないようにね。

A.2／この学校とは真逆？の雰囲気でした。男子校だったのですが校内はボロボロで教室はむさ苦しい・・・。文化祭で他校の女の子が来ると大騒ぎでした。思い返せば楽しくも虚しい高校時代でした。

A.3／愚直さです。損得勘定をせずに、ただひたすらと真面目に真っ直ぐに努力することは、本当に苦しくて、辛いです。それでも愚かなまでに真っ直ぐに生きて下さい。潔く、芯が強い人になりましょう。

A.4／毎日会えて当たり前だと思っている高校の友達って、どう頑張っても何年かすれば皆ちりぢりになってしまうんです。それでも時々会うと、当時の仲のままで接することができるんです。今いる友達を大切にしてください。

柴田 大介 先生（公民科）／写真左から２人目

A.1／校舎が明るく綺麗…だけど施設に余裕がない…そのわりに生徒は健気に頑張る…頑張る生徒を見守る先生が多い…その安心感は時にのんびりモードの生徒を生む…マイペース…でも少しずつ確実に進んでいる学校！！

A.2／勉強もサッカー部の練習も中途半端…だけど一生懸命遊びました。その分、今、一生懸命勉強して、思いっきり部活動しています！！

A.3／公民の授業で伝えていることは、“リテラシー”。この言葉の語源は“レター（手紙）”。書くこと・読むことに加えて伝えることが必要です。そのためには何が必要か…その力をつけてほしいです。

A.4／好奇心＋行動力＝“新しい世界”。風が吹くのを待つのではなく、自分からたくさんの風を起こしてください。たくさんの気持ちよい風が吹くことが似合う校舎ですから…その風を心地よく感じたいと思っています。

福島 功 先生（理科）／写真左から３人目

A.1／礼儀正しい生徒が多い反面、自分から物事を変えていこうとする姿勢が弱いと思います。付属高校の良さは大学受験に縛られない点です。自分の興味を突き詰めて、受験校の生徒ができない本当の勉強をしていってください。

A.2／勉強せずに本（SF）ばかり読んでいました。おかげで現役の時は大学受験に失敗し、一浪する羽目になりました。反省も多くかなり偏った読書でしたが、読書量だけは多かったと思います。

A.3／小さな自分の殻に閉じこもらず、自分の可能性を突き詰めていって欲しいと思います。将来について真剣に考え、真剣に悩み続ければ、きっと自分の進むべき道が見えてくるはずです。

A.4／20年後の自分の姿を考えてみて下さい。君たちが日本の社会を支えているはずです。どんな社会に住みたいのか、どんな社会を作りたいのか。日本の将来は君たちの肩にかかっています。

米元 洋次 先生（英語科）／写真右

A.1／全体を通して穏やかな雰囲気の中、素直で共に一生懸命になれる生徒がいる。様々な分野で経験値や能力が非常に高く、情熱を持って生徒と接する先生がいる。そんな素敵な学校です。

A.2／バンド活動を本格的に始めてのめり込んでいた日々。しかし、学習活動、進路への意識、兼部していたバスケットボール部の活動…そのどれもが中途半端な取り組み方だったので、振り返れば後悔が残る高校生活でした。

A.3／自分の価値観や常識を何度でも打ち砕いて再構築する姿勢を養ってほしい。若く体力があるこの時期だからこそ、自分の内面に揺さぶりをかけても耐えられます。今の自分の「当たり前」を積極的に疑ってみましょう！

A.4／「体験」して得られる「学び」は深く残ります。まずは「やってみる」から始めましょう。失敗してもそこから学び、自己変革し続けようとする人であれ！

晴れて希望する高校に入学できたものの、ここで何をしていこうと思ったのは何年前のことでしょうか。大学入試に向けて勉強しなければという気負いを抱えつつ、自分の居場所ややりがいをみつけていました。そんなとき出会ったのが演劇部でした。芝居を作り、演じていく中で、あまり前に出られない控えめな自分が少し変わった気がします。そのときに出会った友人とは20年以上経っても連絡をとりあい、今も刺激を与えてくれる存在です。新入生の皆さんもこの専大附属で、多くの人と出会い、友情を育んで、自分の力を発揮できる場をみつけて何かを成し遂げてください。そして高校生でないと味わえない達成感を経験してください。

Teachers INTERVIEW

豊後 恭子先生

年間行事 イベントレポート

入学式 4月7日(火)

今年度は新入生415名を迎えました。あいにくの天候でしたが、それぞれの新たな生活を楽しみにする表情は晴れ晴れとしていました。充実した３年間を過ごしてくださいね。

卒業式 3月3日(火)

専大附属、最高！

３年間の未来航海を終え、422名が輝かしい笑顔で卒業を迎えました。専修大学附属高等学校でのステキな思い出を胸に、今後の人生も大いに楽しんでもらえればと思います。

活動集

女子バスケットボール部

●顧問／田中健二朗 先生

バスケットは一度に5人しかコートに立つことができません。しかし、選手交代は何回もすることができ、チーム力が高い事が重要だと思います。そのため、全部員の27名は一人ひとり個性を尊重し、誰かと同じではなく、自分の色を明確に出しそれが一つになってチーム力を高めるという想いを持ち、日々練習に励んでおります。お互いを認め、厳しくそして楽しく練習に取り組み、更なる向上を目指しております。

美術部

●顧問／吉田正 先生

美術部では、それぞれが自分の好きな方法で、好きな素材を使って、自由に制作に取り組んでいます。初めて油絵に挑戦する者、色鉛筆や水彩、アクリル絵の具などを使ってイラストを描く者、粘土を使って立体造形をする者、将来のためにとデッサンを始める者、ペーパークラフトに興味がある者など様々です。一見煩雑そうに見えますが、皆主体性を持って楽しく取り組んでいます。

TOPICS

軽音楽同好会

●顧問／米元洋次 先生

「クラブの部員である前に専大附属生であれ」という土台に立ち、音楽活動を通して自らの視野を広げ、音楽を愛する心を養いながら人や社会に貢献することを目指しています。設備環境上、大規模なクラブになるのは難しいですが、個々のバンドを越えてクラブ一丸となって活動できるよう、部員が主体的に考え、行動しています。

クラブ特

男子バレーボール部

●顧問／服部竜也 先生

中学校でバレーボール部に所属していた部員は各学年１～２名しかいませんが、部員全員が一丸となって努力を継続しているため、過去10年間で３つの学年がベスト16に入り、他の学年も全てシードを獲得しています。また、私立高校の関東大会にも４回出場しています。高校から新しいことに全力で取り組みたい生徒たちが大きく成長できるクラブです。

ラグビー部

●顧問／野坂崇 先生

ラグビーはイギリスの私立学校で生まれたスポーツです。勉強で頭を鍛え、ラグビーを通じて勇気、礼儀、忍耐を養い、社会に貢献できる逞しいジェントルマン・レディーを目指します。部員のほとんどは高校から始めた初心者で、校庭は広くなく、使える時間も多くありませんが、何事も創意工夫で乗り越え、昨年度は７人制大会で東京都第３位に入賞しました！

TOPICS

ワンダーフォーゲル部

●顧問／渡邉賢 先生

山登りって楽しいんですか？つらいです。それが達成感につながるんです！体力が無いとだめですか？大丈夫、ぜったいに。山登りって危なくないですか？危ないです。だから真剣に取り組みます。登山の大会ってあるんですか？あるんです。全国大会を目指してみましょう！山登りしかしないんですか？いいえ。部員の意欲次第で活動の幅は無限大です！

生徒会便り

編集
中條 花久
山崎

生徒会執行部の活動は主に「文化祭の運営」「体育祭の企画」「ボランティア活動」などです。活動日は月～土曜日の放課後です。文化祭や体育祭のある2学期はとくに忙しく毎日遅くまで残り活動をしています。1学期の始めから、文化祭や体育祭について話し合い、より良い学校行事の運営に努めています。

また、地域交流・ボランティア活動にも積極的に参加しています。専大附属のある杉並区の和泉地区や永福地区の地域のお祭りなどにお手伝いとして参加することもあります。地域の方々や子供達とのふれあいを大切にするのと共に、コミュニケーションを取りいざというときに助けあえる関係になる機会でもあります。

生徒会執行部では春休みを利用して石巻研修を行っています。東日本大震災から4年がたった今、私達に何ができるのか。

目的は「東北の”イマ“を知る」「今後の生徒会業務へフィードバックする」「防災意識を高める」です。実際に自らの足で赴き体験することによって感じたもの、得たものを今後どのように生かしていくか。

また、文化祭の売り上げの一部を”みちのく未来基金“へ寄付しています。

このような活動をしている専大附属の生徒会執行部。気になる人は生徒会室のトビラを叩いてみて!!

平成26年度石巻研修報告

1日目
- みちのく未来基金事務所訪問
- 大川小学校訪問

2日目
- 漁業体験
- MORIUMIUS
- 学校改修ボランティア

3日目
- 女川方面視察
- 「おのくん」見学

みちのく未来基金について

真にこの復興の礎となるべき被災した遺児たちがその夢や希望を諦めず成長し、故郷の復興のために役立ってほしいとの願いを込めた、進学支援のための奨学基金として設立された団体。

生徒会長の挨拶

生徒会長の3年、Wです。

みなさんに生徒会活動を知ってもらいたくてこのようなページを設けさせていただきました。

生徒会は文化祭・体育祭や被災地のこと以外にも町内のお祭りやボランティアなどにも参加しており、地域とのつながりも大切にしています。

生徒会は一体何をしているんだろうと疑問に思う方もたくさんいると思いますが、これをみて、生徒会について少しでも知っていただき、そして興味を持っていただけたら嬉しいです。

密着 生徒会24時!!

みなさんこんにちは!!
生徒会執行部です。
今回は生徒会が
日頃どんな活動を
しているのか写真と一緒に
紹介していこうと思います。
それでは…レッツ GO!!

PM3:20

生徒会の活動は放課後から始まる…普段、生徒会は3Jの隣の生徒会室でときにはワイワイ楽しく、やるべきときには真剣に仕事をしています。現在の生徒会の部員数は、1年生7名、2年生7名、3年生4名総勢18名です。今年は新1年生が多く加わってくれたのでこれからの活動が楽しみです。

PM5:30

基本的に毎日、文化祭や体育祭などの年中行事や学校・地域をより良くする為の話し合いや仕事をしています。1学期は文化祭のことを中心に活動しています。文化祭の仕事は係分担されていて、中夜祭・レンタル・会計など様々な仕事があります。それぞれ仕事に集中していて、特に文化祭直前は皆鬼のような形相で仕事をしています。（笑）

PM7:00

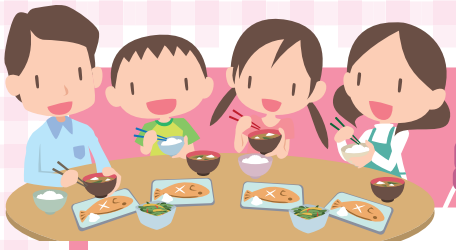
生徒会の仕事も一段落着き、生徒会メンバーは帰路につきます。平日の生徒会の活動時間は15:20～19:00頃まで。土・日は13:00～17:00頃まで活動しています。平日は上記の活動、土・日はプラスαでボランティアなどもしています。また文化祭期間中は6:30集合、20:30解散のこともあります。このように忙しいですがとてもやりがいのある部活です。帰路についた生徒会メンバーはまた明日元気に活動するために疲れを癒すのだった…。

◆締め◆

みなさん、今回の生徒会便りはいかがだったでしょうか。

私たち生徒会執行部はほぼ毎日活動しています。少しでも生徒会が何をしていて、生徒会室がどこにあるかを知っていただけたら嬉しいです。文化祭や体育祭で分からないことがあったら生徒会室のトビラを叩きに来て下さい。

これからもみなさんの声援をエネルギーに楽しい行事を作っていくよう頑張ります。これからもよろしくお願いします。



Teacher 柴田の 学べる家庭科

Teacher○○の 特別講義 ～5時間目～

5時間目 おいしさの科学

プロフィール
柴田実花 教諭
（家庭科）

おいしさの決め手は何でしょう？人は味覚や嗅覚の受容体を数多く持っていますが、“甘み”と“うま味”の受容体は１種類のみ。それだけで食品を繊細に味わい分けることは困難です。だしの効いた吸い物や野菜の産地の違いによるおいしさなどは‘口から鼻に抜けるにおい’を無数の受容体が識別して得られるもので、口内で感じ取る‘食感’もまたおいしさの素です。幼い頃から食べ慣れてきた味が学習による嗜好であることは、食文化の地域性からも説明できます。一方で、生存のためのエネルギーにつながる「甘味」や体液バランス維持に不可欠な「塩味」などは本能的に好まれる味です。かつて日本では仏教の教えから肉食と疎遠であり「うま味」はタンパク質源として好まれ、だしが発達したようです。また、人間の場合は「高価な」「手間をかけた」「行列ができる」などの情報に影響されます。舌の感受性は生まれつきのようですが、後天的に経験を積み重ねることで脳が味の信号を区別できるようになると言われています。魚臭い鰹出汁の香りが苦手な外国人にも鹿節で作る出汁は人気で、“うま味”のおいしさに気付いたことで味の探究の幅が広がっているとか。皆さんも様々な味を意識的に学び、心地よい食体験を積み重ねておいしさの幅を広げてみませんか。

次号、6時間目に続きます！

専大附属掲示板

寄付者芳名

平成二十六年六月から平成二十七年四月末までに、ご入金が確認された方々

本校では、あらゆる面で教育指導や学習の場にふさわしい教育環境の整備を進めるため、「教育振興協力資金」の募金活動を実施しております。

平成二十六年六月から平成二十七年四月三十日までに、八十五件、千七百二十二万千三十六円の浄財が寄せられました。多額のご賛同を頂き深く感謝申し上げます。

なお、「教育振興協力資金」についてのお申し込み、お問い合わせは本校事務局（電話〇三ー三三二一ー七一七一）までお願いいたします。

法人・団体

専修大学附属高等学校同窓会 様
専修大学附属高等学校後援会 様
株式会社専大センチュリー 様
専修大学附属高等学校卒業対策委員会 様

個人

銭谷 正勝 様
坂尻 貞義 様
能城 迪裕 様
田中 實 様
坂本 憲一 様
林 一郎 様
川原 久治 様
北澤 功 様
笹井 正克 様
雲雀 吉紀 様
元田 隆一 様
小泉 誠子 様
髙橋 伸行 様
本多 直也 様
木村 義和 様
吉田 亨 様
五十嵐直美 様
小菅 一人 様
越塚 浩道 様
高橋加奈子 様
坂田 純 様
山口美智子 様
甚田 隆夫 様
加藤 満 様
中嶋 正浩 様
室屋 博幸 様
横山 良一 様
木村 佳央 様
篠田 章 様
竹下 智 様
屬 武士 様
吉田 憲昭 様
青木千佳子 様
杉山 保成 様
鈴木 誠也 様
渡邉 智章 様
森 雅美 様
内藤 新司 様
庄司 浩一 様
山内 和知 様
近藤 寛 様
馬野 浩二 様
清水 伸幸 様
富澤 恵里 様
川西 秀樹 様
山崎 尚孝 様
羽生信一朗 様
宮島 亮 様
鈴木 一成 様
谷口 峰雄 様
中川 寛子 様
古幡みさ子 様
山本 幸雄 様
若井 祐一 様
丹羽 慎治 様
笹谷 俊雄 様
渡邉 康司 様
棚澤 結花 様
平原 達也 様
辻野 祥一 様
宮島 教通 様
田中 広行 様
森野弘太郎 様
立川 幸男 様
山崎 雅 様
山口 高生 様
松崎 栄治 様
高 泰雄 様
畑 秀生 様
石井 克司 様
竹崎 健二 様
青木 麻紀 様
吉野 正久 様
村山 誠 様
櫻本 康敬 様
藤波 孝 様
畑 恒一 様
山部 太 様
長谷川 功 様
小泉 好司 様
澤田 宏樹 様

Senshu Global Projects

専大附属生　未来への想像と創造のために

～To become imaginative and creative person for the future!～

夏期オーストラリア語学研修

期間：7月～8月（14日間）

- オーストラリアのタウンズビルを中心とした、ホームステイによる海外語学研修。
- ２週間の滞在で、語学の上達はもちろんのこと、オーストラリアの歴史や文化、習俗や習慣も体験できるプログラムが満載。
- グローバル化への歩みは、まずこの研修から！

夏期韓国研修旅行

期間：8月（4泊5日）

- 韓国語に触れつつ、最先端ソウルの若者が発信するメッセージをキャッチ。
- 姉妹校生徒との交流を通した異文化体験プログラムが満載。
- アジアへの眼差しを獲得したいあなた、まずはこの研修から！

続きは次号で

- 11月／米国 シーリンスグローブ・エリア高校生徒ホームステイ
- 12月／韓国 檀国大学附属高校生徒との交流プログラム
- 1～2月／ニュージーランド語学研修
- 3月／アメリカ短期交換留学

Memories of カナダ中期語学研修・ニュージーランド語学研修

カナダ

期間：8月～11月（4ヵ月間）

●26年度／参加者　澤田　開

留学に行くまではとても長いと考えていた4ヶ月でしたが、実際に行ってみると、本当にあっという間でした。この4ヶ月、本当にたくさんの新しい経験をすることができました。中でも、世界中にできた友達と、不安なことや楽しみを共有できたことはすごく印象的で、かけがえのない経験となりました。
新しい発見や様々な経験を積むことができるなど、自分にとってプラスになることばかりの留学でした。

ニュージーランド

期間：2月（1ヵ月間）

●26年度／参加者　鈴木　友和

私はこの語学研修を高校三年間で学んだ英語の集大成のつもりで参加しました。研修当初は英語でコミュニケーションがとれず戸惑いましたが、自分の意識が伝わるよう努力しました。その結果ホストファミリーも真摯に向き合ってくれて少しずつ自信がつきました。
またワイカト大学の語学センターでは英語圏でない様々な国の人と一緒に学習するので、それらの国々の文化にも触れることができ心の視野が広がったと思います。

編集後記

今回も多くの方々に協力していただき無事にBuddy!を発行することができました。
日々活気づいている専修大学附属高等学校の魅力を少しでも多くお伝えできていれば幸いです。次号もお楽しみに！

■お問い合わせ先
専修大学附属高等学校
〒168-0063　東京都杉並区和泉4-4-1
TEL.03-3322-7171　FAX.03-3322-9043
URL http://www.senshu-u-h.ed.jp/
MAIL nyuushi@senshu-u-h.ed.jp